

明石支部では、企画を募集しています。文化行事から臨床研究会まで、お気軽に事務局までご連絡ください。



ステージでマジックを披露した後は、テーブルマジックも。



支部では12月10日にレストラン「オステリア・ロッシン」で、クリスマスパーティーを開催した。会員や家族、スタッフら34人が参加し、プロマジシャンの華麗な手品やビンゴ大会などで大人から子どもまで盛り上がった。各テーブルでマジックが披露されるたびに、「こんなに間近なのにタネがわからない！」と歓声が上がった。

魅惑の手品や楽こくビンゴまで

X'masパーティー

役職員一同



謹賀新年

謹んで新年の
お慶びを申し上げます
本年もよろしく
お願い申し上げます

兵 庫 協 会
保 險 医 協 会

明石支部
二
五
五
五



N o. 255

2012・1・25

投稿歓迎!

兵庫県保険医協会明石支部

支部長 吉岡 巖
神戸市中央区海岸通一丁目二番三十一号
神戸フコク生命海岸通ビル五階

TEL 〇七八―三九三―一八〇(代)
FAX 〇七八―三九三―一八〇(二)

明石支部の先生方へ

原発からの撤退を決断し、エネルギー政策の転換を
求める請願署名にご協力をお願いします

兵庫県保険医協会環境・公害対策部長 森岡 芳雄



3月11日の東日本大震災により、原子炉がメルトダウンした東京電力・福島第一原子力発電所から放出された大量の放射性物質は、原発周辺はおろか世界中を汚染しました。放射線障害は被ばくから何十年も後に現れ、少量の被ばくでも、がんなどの発生率を高めるため、今後甚大な被害が予想されますが、政府・東京電力は「ただちに健康に影響はない」との発言を繰り返し、事故の現状や被害状況など正確な情報を公開しようとしません。

今回の事故は、安全神話が電力会社による「やらせ」でつくられ、政府と財界が一体になって利益共同体をつくり、国民を欺いてきたことを明らかにしました。そして、原発がいったん事故を起こすと収束困難であること、放射性物質の最終処理方法が決まっていないことなど諸問題を国民に突きつけています。

原子力に依存しないエネルギー政策に転換し、全原発を一刻も早く停止させることが求められます。

協会・保団連は、原発からの撤退を決断し、エネルギー政策の転換を求める請願署名に取り組むことを決定いたしました。請願項目は、①福島第一原子力発電所の事故を一刻も早く収束させ、廃炉にすること②原発の新規計画を中止し、既存の原発は計画的に廃炉にすること、③原発からの撤退を決断し、日本のエネルギー政策の転換を図ることの3点です。

署名の趣旨にご理解賜り、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。同封の返信用封筒にてご返送下さい。



※署名用紙の注文、お問い合わせは、

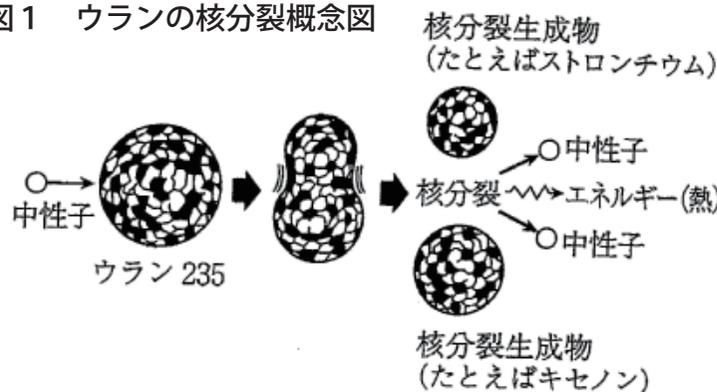
兵庫県保険医協会事務局・小西 (Tel 078-393-1807、FAX078-393-1802) まで

第28回支部総会 記念講演詳録②

原発を知る・被ばくを知る

京都府保険医協会 飯田 哲夫 先生

図1 ウランの核分裂概念図



2.5個飛び出して

中性子が平均

遅くするものを、減速材と

いいです。余談ですが、よく耳にされる「もんじゅ」

して熱を取り出します。

燃えやすいウラン235が

約0.7%しかないんですけれども、これをいろんな操作

をして、だいたい3、ない

し5%ぐらいの濃度に高め

る。つまり、次にぶつかり

やすくする。こんな工夫を

するのは、自然界のウランには、

燃えやすいウラン235が

約0.7%しかないんですけれども、これをいろんな操作

をして、だいたい3、ない

し5%ぐらいの濃度に高め

る。つまり、次にぶつかり

やすくする。こんな工夫を

して熱を取り出します。

燃えやすいウラン235が

約0.7%しかないんですけれども、これをいろんな操作

をして、だいたい3、ない

し5%ぐらいの濃度に高め

る。つまり、次にぶつかり

やすくする。こんな工夫を

して熱を取り出します。

燃えやすいウラン235が

約0.7%しかないんですけれども、これをいろんな操作

をして、だいたい3、ない

し5%ぐらいの濃度に高め

る。つまり、次にぶつかり

やすくする。こんな工夫を

して熱を取り出します。

第28回支部総会での市民公開記念企画「原発を知る・被ばくを知る」の講演録に加筆したものを今後シリーズ掲載。今回は第2回目。

③ 核分裂

原発の燃料は、普通ウランです。ご存じの通り、ウランは2種類あって、良く燃えるウラン235と、ほとんど燃えないウラン238。このウラン235に中性子を1個ぶつけてやると、だいたい85%ぐらいの確率でウランが2つに分かれます(残りの15%は吸収されてしまう)。分かれたものは核分裂生成物、いわゆる死の灰と呼ばれる放射性物質になります。このウランが分裂する時に、中性子が2〜3個(平均2.5個)飛び出してくると同時に、非常にたくさん熱がでてきます。これを利用してヤカンを沸かすわけです(図①)。

④ 原子炉

もちろん、そんなことが起ると困るので、原子炉ではゆっくり反応が起こるようにします。いま核分裂が起こって、中性子が飛び出してくると話しましたが、その飛び出すスピードが非常に速く、速すぎて次のウランを突き抜けてしまふ。これじゃ反応が起こらないので、この中性子を少し遅くしてやります。この遅くするものを、減速材といいますが、余談ですが、よく耳にされる「もんじゅ」を高速増殖炉といいますが、これも、この高速っていうのは、減速しない中性子を使うという意味です。普通の原子炉では、減速した中性子を使いますが、そのための減速材には黒鉛だとか、普通の水の2倍の重さを持つている水一重水、それに対して軽水と呼ぶ普通の水などを使います。日本にある現在の原発は、すべて軽水炉です。